



株式会社シャルレ 〒654-0192 神戸市須磨区弥栄台三丁目1番2号
TEL 078-792-7000(代表) <https://www.charle.co.jp/>



株主のみなさまへ 第46期 報告書

2020年4月1日～2021年3月31日

株式会社シャルレ 証券コード 9885

株主のみなさまへ

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご支援、ご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

また、この度の新型コロナウイルス感染症に罹患された方々と、感染拡大により生活に影響を受けているみなさまに、心よりお見舞い申し上げます。

ここに当社第46期連結会計年度における報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におきましては、期初より新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、人々の生活様式や価値観が大きく変化いたしました。外出自粛や労働環境の変化、また人との接点の在り方など、今後の変容が求められております。

当社の主力事業である、レディースインナーを中心とした繊維製品業界におきましても、人々の生活様式や価値観の変化により、お客さまとの接触を制限され、訪問販売という特性を発揮できないなど、大きな影響を受けました。

そのような中、当社は2019年4月に策定した3か年の中期経営計画を推進し、シャルレビジネスの環境整備や商品開発体制の見直しなどに積極的に取り組み、ビジネスへ参加される方々が増加に転じるなど、一部に明るい兆しが見えたものの、売上高の大幅な減少に伴い、遺憾ながら赤字決算となりました。

また、当社は2020年8月17日にシャワーヘッド製品等の製造および販売を行っております株式会社田中金属製作所および株式会社WATER CONNECTの全株式を取得し、連結子会社化いたしました。シャワーヘッド業界におきましては、昨今のウルトラファインバブル技術のメディア露出の増加により認知度が向上するなど、着実に成長を遂げており、引き続き事業拡大を推し進めてまいります。

このたび、前任の奥平の任期満了に伴う退任により、バトンを受け継ぎ、代表取締役社長に就任することになりました。当社を取り巻く環境は依然厳しい状況ではございますが、シャルレビジネス事業の再生を図ることに加え、グループとしての持続的な事業成長に向けて積極的な投資を行い、新規事業の開発による第2、第3の柱となる事業を創造していくことを中期的なグループの経営課題とし、その実現に向けて邁進してまいります。

株主のみなさまにおかれましても、引き続き、温かいご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



2021年6月
株式会社シャルレ
代表取締役社長
林 勝哉

基本理念

人はみな豊かでなければならない
我々に関係ある人はみな
どうしても豊かでなければならない

通期業績報告

連結業績報告

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け経済活動の停滞が続いており、持ち直しの動きはみられたものの、再拡大の波が繰り返されるなど、依然として先行き不透明かつ厳しい状況が続いております。

当社は、レディースインナー等販売事業を柱として運営しておりますが、2020年8月にシャワーヘッド製品等の製造および販売を行っております株式会社田中金属製作所および株式会社WATER CONNECTの全株式を取得し、連結子会社化しました。これに伴い、報告セグメントを「レディースインナー等販売事業」および「ウルトラファインバブル技術製品等製造販売事業」の2つの区分に変更いたしました。

レディースインナーウエア市場におきましては、EC化率は高まりつつあるものの、休業要請や外出自粛要請、生活様式の変化などの影響を受けて、企業活動の制限や個人消費の冷え込みの長期化など、当社を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

ファインバブル製品市場におきましては、シャワーヘッドや浴槽、水栓などの消費者向けファインバブル製品が普及するとともに、その特性を活かし、環境、農業、医療など様々な分野に応用され、産業化が進んでおります。

これらの結果、当連結会計年度における当社グループの経営成績につきましては、売上高は137億71百万円となりました。利益面につきましては、売上高の減少により、営業損失は7億75百万円、経常損失は7億29百万円、親会社株主に帰属する当期純損失は13億29百万円となりました。

なお、株式会社田中金属製作所および株式会社WATER CONNECTの連結子会社化に伴い、当連結会計年度は連結計算書類作成初年度となるため、前連結会計年度との比較は行っておりません。

47期より、中間報告書につきましては、冊子送付は廃止し、当社ホームページでのWEB掲載のみとさせていただきます。

レディースインナー等販売事業

レディースインナー等販売事業につきましては、2019年4月に策定した2022年3月期を最終年度とする3か年の中期経営計画を推進し、「シャルレビジネス事業の再生」と「新規事業開発による新たな柱の創造」の2つの基本戦略に基づき、事業改革の促進、業績回復などに向け、シャルレビジネスの環境整備や商品開発体制の見直しなどに積極的に取り組んでまいりました。

商品面

衣料品類では、シャルレ独自設計のカップ付きインナーである「シャルレBLトップ(タンクトップ・キャミソール)」や「ライトスムージングインナー(タンクトップ)」を数量限定で発売しましたが、売上高は低調に推移しました。また、ウエルネス商材の新商品として、日常的な動作を利用しながら骨盤底筋を鍛えるサポートを行う「ながら筋トレ 骨盤底筋ボトム」を発売し、話題性が高く売上高は好調に推移しましたが、衣料品類全体の売上高は大幅に減少しました。

化粧品類では、既存商品をセット組みにしたお得感のある販促用の企画商品の発売や化粧品のテストターを発売し、好調な推移となりましたが、化粧品類全体の売上高を牽引するまでには至りませんでした。

健康食品類では、吸収の速さが異なる3種類のたんぱく質を配合した「ミライサポート トリプルたんぱく」を定番商品として新たに発売し、健康需要の高まりなどにより好調に推移し、健康食品類全体の売上高に貢献しました。

しかしながら、訪問販売・通信販売ともに、新型コロナウイルス感染症の拡大により、海外取引先での生産の停滞などによる新商品の発売延期や外出自粛によるビジネスメンバーの販売活動の制限に伴い、衣料品類や化粧品類を中心に売上高が減少しました。

営業施策面

2020年4月より営業拠点を8支店体制から2拠点に統合し、総合的な営業力を発揮するための営業支援体制を開始しました。また、ビジネスメンバーにおける活動意欲の喚起や組織の活性化を目的に、ビジネスプログラムの見直しや新たなインセンティブ制度の導入、ボーナス制度の上乗せやサンプル無償提供など、緊急の活動支援対策も順次実施してまいりました。これらの結果、ビジネスメンバーの新規育成人数は増加となりましたが、販売現場の3密回避による活動の制限やシャルレジャンプアップコンテスト2020(9月~11月)の中止などにより、売上高は減少しました。

以上の結果、レディースインナー等販売事業の売上高は129億19百万円、セグメント損失は10億57百万円となりました。



ながら筋トレ 骨盤底筋ボトム

ミライサポート トリプルたんぱく

ウルトラファインバブル技術製品等製造販売事業

美容と節水効果が期待できる基幹商品であるシャワーヘッド「Bollina (ボリーナ)」においては、ウルトラファインバブル製品の昨今のメディア露出の増加により認知度が向上し、ECサイト販売の売上高は好調に推移しました。

また、新商品として精製水や水道水などから除菌・消臭効果が期待できる携帯型オゾン水生成器「ボリーナ オースリーミスト」を発売いたしました。

以上の結果、ウルトラファインバブル技術製品等製造販売事業の売上高は8億51百万円、セグメント利益は3億50百万円となりました。

なお、子会社である株式会社田中金属製作所および株式会社WATER CONNECTの2社は、2020年7月31日をみなし取得日として両社を子会社化し、両社の決算日を10月31日から1月31日に変更しております。従いまして、経過期間となる当連結会計年度につきましては、ウルトラファインバブル技術製品等製造販売事業の業績は、2020年8月1日から2021年1月31日までの6か月分となっております。



中期経営計画 (2019年4月～2023年3月)

当社は、2019年4月から2022年3月期までの3か年の中期経営計画を策定しておりましたが、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響や株式会社田中金属製作所および株式会社WATER CONNECTを子会社化したことなど、昨今の事業環境の変化や業績の現況を総合的に勘案した結果、現行の中期経営計画については、推進期間を1年間延ばし、推進期間は2023年3月までに変更しております。また、経営戦略の基本骨子は踏襲しつつも、企業グループとして中期経営計画を見直し、その推進と業績回復を目指しております。

当社グループが目指す姿

「女性を元気にする日本一のグループ」を目指して

1. 女性の生涯に「美しさと健やかさ」に貢献できる「ものづくり」に徹底してこだわり、人々の生活に密着した商品やサービスで質の高い生活を追求するシャルレグループになる。
2. 国内市場において得た知見や技術を海外の女性に向けても商品やサービスを展開している。
3. 経営基盤である財務体質の改善に取り組むため、資産の収益化によって、安定的なステークホルダーへの還元を実現する。
4. シャルレグループとして、時代の変化に合わせ、現代女性の価値観に沿った新たな価値創造企業として社会に貢献する。
5. 従業員が常にチャレンジし続け、自律・協働の精神をもって、高い志で活き活きと働いている。

目標とする中期経営指標

2023年3月期を最終年度として、連結売上高175億円、営業利益10億円以上を中期経営目標としております。

中期経営戦略

シャルレビジネス事業の再生

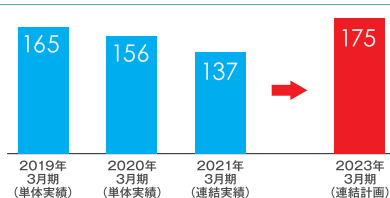
- ①販売組織の拡大
 - ・新規代理店および新規特約店への教育・育成支援の強化
 - ・ビジネスメンバーへの営業活動支援の強化
- ②ビジネスモデルの特性に応じた商品開発および販促
 - ・販売組織の拡大に向けた商品開発および販促の強化
 - ・高粗利商材の拡販
- ③顧客へのダイレクトアプローチ手法の確立
 - ・新規顧客の獲得に向けたダイレクトアプローチの推進
- ④ビジネスメンバーにおける新たなビジネススタイルの確立
 - ・リアルな接点とデジタルの支援を融合させた活動の推進
- ⑤収益性向上に向けた取り組み
 - ・社内業務の生産性向上および効率化
 - ・在庫ロス低減に向けた取り組み

新規事業開発による新たな柱の創造

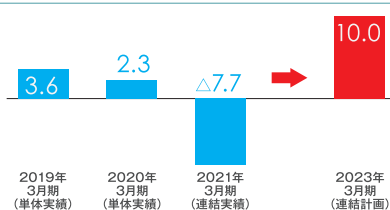
- ①子会社の事業運営
 - ・柱事業への育成による収益力の向上
- ②M&A・提携等による新事業の開発
 - ・国内における第3の柱となる事業の開発
- ③新たなチャネルへの展開
 - ・国内外における新規販売チャネルおよびルートの開拓・拡大

グループ中期経営目標 (2023年3月期目標)

売上高 (単位:億円)



営業利益 (単位:億円)



※2021年3月期と2023年3月期は、株式会社田中金属製作所、株式会社WATER CONNECTの子会社2社を含めた連結数字となっております。

グループ中期経営戦略の進捗状況

シャルレビジネス事業の再生

①シャルレビジネスの環境整備およびプロモーション強化

当連結会計年度より、大幅に見直しを図った新たなビジネスシステムやルールへの運用を開始し、ビジネスメンバーへの周知・浸透に重点を置いた営業支援活動に積極的に取り組んだ結果、新規の代理店や特約店人数は大幅に伸長しました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症による外出自粛等のなか、ビジネスメンバーの販売活動は断続的に停滞し、業績に大きな影響を受けました。

また、当社、代理店、特約店間を繋ぐ受発注システム(C-LINE)にタイムリーかつ有益な情報伝達機能を付加させ、ビジネスメンバーの販売活動の効率化および促進を図ってまいりました。

今後は、リアルな接点とデジタル化の支援を融合させた販売活動を可能とする環境づくりに取り組むとともに、一般消費者へのダイレクトアプローチ施策による販路拡大を実行してまいります。

②ビジネスモデルの特性に応じた商品開発

当連結会計年度においては、当社はビジネスモデルの特性や販売現場のニーズに即した商品を提供するために、マーケティング機能に特化した組織改編などを行ってまいりましたが、ビジネスメンバーの販売活動が制限されるなか、販売戦略機能のより一層の強化を図るため、改めて組織改編を行い、消費者ニーズを捉えた商品開発、ならびに販売組織の活性化を下支えするプロモーション施策の一層の強化を図ってまいります。

③収益性向上に向けた取り組み

当連結会計年度においては、高付加価値商品の売上拡大を図るために、新商品の投入やプロモーション用の企画商品の発売を行ってまいりました。健康食品類は堅調な販売推移となりましたが、化粧品類は、低調な販売推移の結果となりました。

今後は、衣料品も含めた既存定番商品の売上構成比を拡大させるとともに、商品在庫の適正化を図り、収益性向上を目指してまいります。

また、社内における人員配置の最適化や業務の削減による効率化を積極的に推進してまいります。

新規事業開発による新たな柱の創造

①M&A・提携等による新規事業の展開

当連結会計年度において、国内におけるM&Aや提携等の候補先企業の探索を行い、株式会社田中金属製作所および株式会社WATER CONNECTの2社を子会社化するに至りました。今後は、子会社への成長支援に取り組み、第2の柱事業への発展を目指します。また、M&Aや提携等の対象となる候補先企業の探索も引き続き継続してまいります。

また、既存ルート以外での当社商材の販売ルートを確立するために、健康食品を用いて、TVショッピングでの一般消費者に対するダイレクト販売をテスト的に取り組み、新規顧客の獲得に繋げてまいりました。

今後も引き続き、消費者へのダイレクト販売を強化し、継続的に推進してまいります。

②海外市場への積極的な展開

当連結会計年度においては、中国およびASEAN地域における市場展開を目指し、新たな販売ルートを探求してまいりました。現在は海外渡航の制限が継続されているなか、ASEAN地域でのテストマーケティングを開始するに至りました。

01

ながら筋トレ、骨盤底筋ボトム を発売しました ～快適な着用感だから、毎日はいてラクラク筋トレ～

開発のきっかけは？

数年前からテレビなどでコンチネンスケア商品のCMが増えていることに注目しました。また、当社で発売中のコンチネンスケアショーツはビジネスメンバーのみなさまに安定してお取り扱いいただいております。これらの状況から、コンチネンスケアショーツを着用する前の段階に関わる商品があれば、今まで以上にみなさまのお役に立てるのではないかと考えました。

商品の特長は？

家事や育児をしながら日常の動作を通じて骨盤底筋のトレーニングができるということが商品の大きな特長です。骨盤底筋とは、膀胱や子宮、直腸などの内臓を下から支えるという、とても重要な働きをする筋肉ですが、加齢や妊娠、出産でゆるむことがわかっています。骨盤底筋がゆるむことで発生する悩みをかかえている方が多いのですが、この商品を着用していただくことにより、いつもの生活をするだけで、骨盤底筋のトレーニングすることができます。

開発の着眼点は？

さまざまな文献や、身体の構造、筋肉の働きを調べ、作業療法士の助言をもとに検証した結果、骨盤底筋は内ももの上部と連動しており、内ももの上部の筋肉を鍛えることが骨盤底筋トレーニングにつながるということがわかりました。ボトムには座ったときに、あえて脚が外向きに開くような負荷をかけることで、脚を閉じたときに自然に内もも上部に負荷がかかり、筋トレ効果が生まれます。また、歩くときも脚が外向きに開くように負荷がかかり、それに抗いながら歩くことで、歩くだけで骨盤底筋のトレーニングになります。この考えをもとに試行錯誤を重ねた結果、当社独自の「開脚ライン構造」を開発することができました。試作品では、社内モニターに、立つ、歩く動作をしてもらい、筋肉の活動量を数値化する「筋電図」データを取り、都度、パタンナーとも連携し、何度も繰り返し記録を取る等の確認を行い、完成しました。

骨盤底筋とは？

骨盤の底にはたくさんの筋肉や靭帯、筋膜があります。これらを「骨盤底筋」といい、骨盤内臓器をハンモック状に支えています。

内転筋とは？

股関節を内転させる(脚を閉じる)筋肉です。



TOPICS

02

健康食品 ミライサポート トリプルたんぱく を発売しました

身体は水分(全体の約60%)を除くと、約半分がたんぱく質であり、たんぱく質は身体を構成する、健康と美容には欠かせない栄養素です。たんぱく質は、常に身体の中でつくり変えられており、蓄えておくことができません。そこで、発売したのが『ミライサポート トリプルたんぱく』です。吸収の速さが異なる3種類のたんぱく質とサポート成分の乳酸菌を配合し、吸収速度が異なることで、持続的に吸収をサポートすることができます。あっさりとしたバニラ風味で、牛乳やコーヒーなどお好みのドリンクに混ぜて飲んでいただくことも、ヨーグルトなどの食べ物に混ぜて摂っていただくこともできます。



TOPICS

03

アマリリス柄のパレッティを発売しました(数量限定商品)

アマリリスをデザインモチーフにしたパレッティを発売しました。アマリリスの大輪でいきいきとした印象を持つ、凛と咲くその姿は、見る人の心を明るくしてくれるオーラがあります。パレッティでも同じように、身に着けた方の心が明るく、前向きになるようにという想いを込めて開発しました。カラーは「優しさ」「癒し」のイメージのラベンダー、「勇気」「情熱」のイメージのディーブレッドの2色です。大人の女性にふさわしい、気品ある色合いを選定しました。今回の開発においても、刺繍の糸が立体的に浮き立ち、豪華さを感じられるエンブroidアリーレースと、細い糸をより合わせ、繊細さと緻密さを感じられるストレッチリバーレースを使用しています。2種類の高級なレースが共存することで商品を華やかに彩りました。

※パレッティとは、ブラジャー・ガードル・キャミソール・ショーツで展開しているシャルレのシリーズのことを言います。



TOPICS

コロナ禍の取組みについて

マスクの発売 (数量限定商品)



肌着素材で作ったマスクを発売しました。ソフトな風合いの綿混素材なので、肌触りがよく安心感のある着け心地で、また、柔らかく伸びの良い素材で、耳の付け根が痛くなりにくい仕様です。着用の際、会話がしやすいよう、中央のフレームが支えとなり、口に生地が張り付きにくい設計にしました。



肌にやさしいレースを使ったマスクを発売しました。マスクの側面は、裏生地をはらずにレース1枚のみにすることで、呼吸がしやすく、ムレ感を軽減しています。また、高級感のあるボタニカル柄のレースを使用し、吸放湿性に優れたキュプラ混素材で、ムレにくく、柔らかで優しい肌あたりです。マスク肌側中央部に、綿混生地を接着することでハリ感が生まれ、口に生地が張り付きにくい設計にしました。

シャルエーゼ 消毒用ハンドミルクの発売 (数量限定商品)



広範囲の細菌をすばやく消毒する有効成分ベンザルコニウム塩化物(塩化ベンザルコニウム)0.05w/w%が含まれている手指洗浄・消毒剤(指定医薬部外品)です。バッグに入れておけば、外出時も手軽に手指の洗浄・消毒ができます。

直接会えない方とのコミュニケーション推進

シャルレチャンネル

当社のものでのこらわりのこらわりの動画を動画でご紹介していますので、販売活動への活用をビジネスメンバーへおすすめしています。

デジタルカタログ

スマートフォンからメール等で、複数の方にも手軽に送信できるので、直接会えない方にも商品紹介をしやすくしました。

オンライン会合

月1回の代理店向けのオリエンテーションができない状況の中、「オンライン会合」に切り替え実施しています。

SDGsの取組み

基本理念にある人々の豊かさを主軸とし、持続可能な社会の実現と企業の社会的責任の追及により事業成長を目指します。シャルレは持続可能な社会の実現を目指し、SDGsの取組みを推進し、17の国際目標のうち以下の3つの項目について重点的に取り組みます。

3 すべての人に健康と福祉を

人生100年時代を見据えて、人々の健康維持に貢献できる商品の提案を目指します。また、シャルレビジネスを通じて人々が社会や人とつながる“場”を提供することで豊かな生活を目指します。

5 ジェンダー平等を実現しよう

女性を元気にする日本一のグループを目指す企業として、学歴や資格に関係なく誰でも始められるシャルレビジネスを提供し、女性経営者を育成し、女性が活躍する社会を目指します。

12 つくる責任 つかう責任

品質のよい商品にこだわり、パッケージを簡素化する等、環境負荷が少なく、安心・安全に配慮したもののづくりを目指します。



未来へつなぐ シャルレのSDGs

シャルレオリジナルSDGsロゴ

持続可能な社会の実現に向け、目標に取り組むシャルレの企業姿勢をハートの形とSDGsの17色の目標カラーを積み上げるデザインで表現したロゴです。今後このロゴを活用し広くSDGsを推進してまいります。

連結財務諸表の概要

連結貸借対照表

科目	当連結会計年度 2021年3月31日
流動資産	15,135
現金及び預金	11,107
受取手形及び売掛金	265
商品及び製品	3,194
仕掛品	6
原材料及び貯蔵品	67
その他	494
貸倒引当金	△2
固定資産	5,224
有形固定資産	2,447
建物及び構築物(純額)	1,029
機械装置及び運搬具(純額)	114
工具、器具及び備品(純額)	218
土地	949
リース資産(純額)	135
無形固定資産	983
のれん	65
その他	917
投資その他の資産	1,794
投資有価証券	438
退職給付に係る資産	935
繰延税金資産	11
その他	412
貸倒引当金	△4
資産合計	20,359

資産の部

(注)各財務諸表は主要な項目を表示しております。

科目	当連結会計年度 2021年3月31日
流動負債	1,753
買掛金	476
1年内返済予定の長期借入金	7
リース債務	58
未払金	774
未払法人税等	114
賞与引当金	95
その他	226
固定負債	655
長期借入金	33
売上割戻引当金	190
退職給付に係る負債	159
リース債務	78
長期未払金	184
繰延税金負債	8
負債合計	2,409
株主資本	17,924
資本金	3,600
資本剰余金	4,897
利益剰余金	9,558
自己株式	△131
その他の包括利益累計額	25
その他有価証券評価差額金	1
退職給付に係る調整累計額	23
純資産合計	17,950
負債純資産合計	20,359

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

単位:百万円

科目	当連結会計年度 2020年4月1日～ 2021年3月31日
売上高	13,771
売上原価	7,612
売上総利益	6,158
販売費及び一般管理費	6,934
営業損失(△)	△775
営業外収益	53
営業外費用	6
経常損失(△)	△729
特別損失	1
税金等調整前当期純損失(△)	△730
法人税、住民税及び事業税	173
法人税等の更正、決定等による納付税額 又は還付税額	△23
法人税等調整額	449
当期純損失(△)	△1,329
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△1,329

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結包括利益計算書

単位:百万円

科目	当連結会計年度 2020年4月1日～ 2021年3月31日
当期純損失(△)	△1,329
その他の包括利益	205
その他有価証券評価差額金	14
退職給付に係る調整額	191
包括利益	△1,124
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	△1,124
非支配株主に係る包括利益	—

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科目	当連結会計年度 2020年4月1日～ 2021年3月31日
a 営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,044
b 投資活動によるキャッシュ・フロー	3,317
c 財務活動によるキャッシュ・フロー	△219
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,053
現金及び現金同等物の期首残高	9,041
現金及び現金同等物の期末残高	11,095

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、110億95百万円となりました。

a 営業活動によるキャッシュ・フローは、10億44百万円の支出となりました。主な要因は税金等調整前当期純損失7億30百万円、減価償却費及びその他の償却費5億58百万円、たな卸資産の減少額1億97百万円、法人税等の支払額3億1百万円であります。

b 投資活動によるキャッシュ・フローは、33億17百万円の収入となりました。主な要因は、定期預金の減少額39億87百万円あります。

c 財務活動によるキャッシュ・フローは、2億19百万円の支出となりました。主な要因は、配当金の支払額1億58百万円あります。

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

※連結財務諸表について

当連結会計年度において、株式会社田中金属製作所及び株式会社WATER CONNECTの全株式を取得し、子会社化したことに伴い、両社を連結の範囲に含めております。また、当社グループは、当連結会計年度より、連結財務諸表を作成しておりますので、前連結会計年度との比較分析は行っていません。

会社の概要・株式の状況

会社の概要

■ 概要 (2021年3月31日現在)

社名 株式会社シャルレ
 本社所在地 神戸市須磨区弥栄台三丁目1番2号
 設立 1975年11月19日
 資本金 36億25万円
 事業内容 レディースインナーを主体とする
 衣料品、化粧品、健康食品等の販売
 社員数 266名

■ 役員 (2021年6月23日現在)

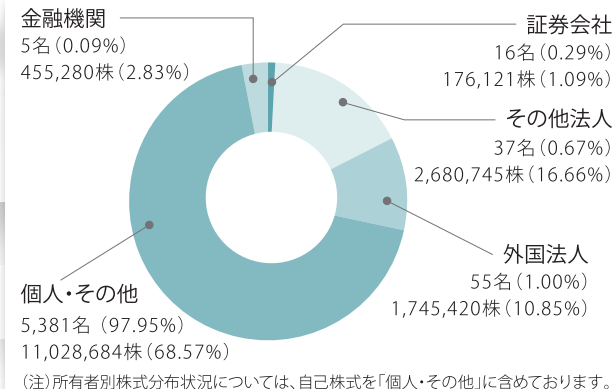
代表取締役社長 …………… 林 勝哉
 取締役 …………… 山 縣 正典
 取締役 …………… 高 畑 則雄
 取締役 …………… 千 本 松 重雄
 取締役 …………… 濱 野 正治
 社外取締役(常勤監査等委員) …………… 吉 田 金吾
 社外取締役(監査等委員) …………… 岸 本 達司
 社外取締役(監査等委員) …………… 井 出 久美
 社外取締役(監査等委員) …………… 茂 永 崇

株式の状況

■ 株式の状況 (2021年3月31日現在)

発行可能株式総数 84,000,000 株
 発行済株式の総数 16,086,250 株
 株主数 5,494 名

■ 所有者別株式分布状況 (2021年3月31日現在)



■ 大株主 (2021年3月31日現在)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
林 雅晴	1,508,925	9.53
(有) G & L	1,272,432	8.04
(有) Lam's	956,150	6.04
林 勝哉	843,500	5.33
瀬崎五葉	834,700	5.27
林 宏子	737,699	4.66
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	707,189	4.47
INTERACTIVE BROKERS LLC	542,100	3.42
林 直樹	458,305	2.89
林 達哉	291,000	1.84

(注) 出資比率は、自己株式(250,486株)を控除して計算しております。

株主メモ・株式に関するお手続きについて

株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	定時株主総会については3月31日 利益配当金については3月31日 中間配当を行う場合は9月30日 その他必要があるときは、 あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 お問合せ先 0120-094-777 (通話料無料)
同連絡先	電子公告 公告掲載 URL https://www.charle.co.jp/company/outline/publicnotice.html (ただし、事故、その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載。)
公告の方法	
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
証券コード	9885

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

『コーポレートガバナンス』の内容に関しましては、
以下よりご覧いただけます。

【URL】
<https://www.charle.co.jp/corporate/governance/>
 【シャルレホームページ】
 「シャルレホームページ」⇒「企業情報」⇒「コーポレートガバナンス」
 を選択

株式に関するお手続きについて

特別口座に口座をお持ちの株主様

お手続き・ご照会等の内容	
○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(※)	○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ
お問合せ先	
特別口座管理機関	株主名簿管理人
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 お問合せ先 0120-094-777 (通話料無料)	
手続書類のご請求方法	
インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufg.jp/daikou/	

(※) 特別口座に口座をお持ちの株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式は、お選びいただけません。

証券会社等に口座をお持ちの株主様

お手続き・ご照会等の内容	
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	○左記以外の お手続き、ご照会等
お問合せ先	
株主名簿管理人	
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 お問合せ先 0120-094-777 (通話料無料)	口座を開設されている 証券会社等に お問合せください。